

陳 情 文 書 表

平 2 3 陳 情 第 1 号	平成 2 3 年 2 月 4 日 受 理
件 名	T P P 交 渉 参 加 反 対 に 関 す る 陳 情
陳 情 者	秦野市平沢 4 7 7 号 秦野市農業協同組合 代表理事組合長 古谷 茂男
陳 情 の 原 文	
<p>陳情趣旨</p> <p>政府は、「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定し、この中で T P P（環太平洋連携協定）について、交渉の参加・不参加の判断は先送りしたものの「関係国との協議を開始する」としたことは、極めて遺憾であります。</p> <p>我が国は、世界で最も開かれた農水産物純輸入国であり、食料自給率は先進国の中でも最低の水準となっており、これ以上の農業の後退は、断じて食い止めなければなりません。</p> <p>例外措置を認めない T P P を締結することは、本市の農業はもとより、日本の農業そのものの存在を否定することにつながります。たとえ生産所得が補償されても、輸入は増大し、地域の農業生産が崩壊していくことは明らかであり、地域の雇用とあわせ関連産業は衰退し、農業の持つ多面的機能も失われます。</p> <p>また、地域消費者の圧倒的多数が望む食料自給率は大幅に低下し、政府は「食料・農業・農村基本計画」を自ら否定することになります。</p> <p>T P P 交渉への参加には断固反対であり、絶対に認めることはできません。</p> <p>つきましては、本陳情の趣旨を御理解の上、下記の事項について、地方自治法第 9 9 条に基づき、国に対して意見書の提出をお願いいたしたく陳情いたします。</p> <p>陳情事項</p> <p>1 地域の第一次産業を崩壊させるとともに、我が国の食料安全保障と両立できない T P P 交渉への参加には断固反対すること。</p>	